〈教育学部〉

科　目　名	科目区分	開講年次	必･選	開講期	単位数	担当教員名	担当形態
青年心理学	**専門（教育支える心理）**	**1**	**選択**	**前期**	**2**	**寺　本　妙　子**	**単独**

英語科目名	Adolescent Psychology

＜授業概要＞

青年心理学とは、青年期の心理と行動の記述、説明、予測をめざす領域である。青年期の問題の理解と対処・解決に資することを目的のひとつとし、青年期真っただ中にある受講生自身の問題としても捉えられるようにする。トピックスとしては、青年期の自我と自己、自尊感情、時間的展望、キャリア発達、親準備性、親子関係、世代間関係等を扱う。講義に加えて、グループ・ディスカッション等の能動的学修を積極的に採り入れ、青年期の問題について主体的に取り組み、これらの問題に対する総合的理解と問題解決的な態度・思考力の修得を目的とする。

＜到達目標＞

青年期の発達について総合的に理解し、その特徴を適切に説明することができる。更に，青年期に起こりやすい問題や課題に対して問題解決的に考え、具体的な対処・解決の方法を考案することができるようになる。

＜ディプロマポリシー＞

・コミュニケーション力、情報収集・活用力をのばし、自律的に学ぶ力、自己研鑽力を身につけている。
・児童・生徒理解、自己理解、他者理解できる心理学的なスキルを修得している。
・専門的な教育学の知識全般を修得し、クリティカルシンキング、創造的思考力、問題解決力を身につけている。

＜学生へのフィードバック＞

授業で全体に向けてフィードバックを行う。

＜授業／AL の進め方＞

各回のテーマについての講義と質疑応答を通じて、授業を進める。教科書や資料を参考に、特定のトピックについてグループ・ディスカッションを行う。また、特定のテーマについてグループで調査してまとめ、全体で発表し、それに対する受講者間の相互評価と振り返りを行う。そして、レポートとしてまとめることが求められる。

＜利用する ICT 機器＞

パソコン、プロジェクター

＜成績評価＞

【評価方法】

平常点（授業への参加態度、グループ・ディスカッションへの貢献、プレゼンテーションへの取り組み、ワークシートへの取り組み）を 50%、レポートを 50%で評価する。

【評価基準】

授業への参加における意欲と積極性、プレゼンテーションの内容と態度、レポートの形式と内容の適切さについて評価する。

＜教科書＞

大野 久（編著）（2010）．エピソードでつかむ青年心理学　ミネルヴァ書房

＜参考書＞

なし

＜受講学生へ＞

授業には、教科書の該当する箇所を読んで参加することが求められる。授業中はワークシートを活用して、グループ・ディスカッションやグループワークを進める。ワークシートは次回の授業で提出する（ワークシートの完成は事後学修とする）。

【授 業 計 画】

第１回	授業内容	オリエンテーション：人生における青年期の位置づけについて検討する。青年期の発達と問題について概観し、ｸﾞﾙｰﾌﾟ・ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝを通じて、青年期について学ぶ意義を明確化する。
	事前事後学修	シラバスを確認する（予習１時間）。ワークシートを完成させる（復習３時間）。
第２回	授業内容	青年期を理解する：エリクソンの漸成発達理論を概観する。青年期の発達課題についてのｸﾞﾙｰﾌﾟ・ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝを通じて、青年期の問題を明確化する。
	事前事後学修	教科書序章を読む（予習３時間）。ワークシートを完成させる（復習１時間）。
第３回	授業内容	青年期のアイデンティティ：ｱｲﾃﾞﾝﾃｨﾃｨ、充実感、自己意識等をトピックとして取り上げる。ｸﾞﾙｰﾌﾟ・ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝを通じて、青年期のｱｲﾃﾞﾝﾃｨﾃｨの特徴を明確化する。
	事前事後学修	教科書第Ⅰ章を読む（予習３時間）。ワークシートを完成させる（復習１時間）。
第４回	授業内容	青年期の恋愛：恋愛、親密性、愛情について概観する。恋愛とｱｲﾃﾞﾝﾃｨﾃｨの関連等に関するｸﾞﾙｰﾌﾟ・ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝを通じて、青年期の恋愛の特徴や問題を明確化する。
	事前事後学修	教科書第Ⅱ章を読む（予習３時間）。ワークシートを完成させる（復習１時間）。
第５回	授業内容	グループ演習①【調査・発表準備】：ｸﾞﾙｰﾌﾟ・ﾜｰｸとして青年期に関するトピックを選び、文献検討・調査、及びﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝの準備（パワーポイント資料の作成等）を進める。
	事前事後学修	トピックの選定と調査（予習１時間）。トピックについての調査（復習３時間）。
第６回	授業内容	グループ演習②【発表・評価】：全体でのプレゼンテーションを行い、受講者による相互評価と振り返りを行う。
	事前事後学修	プレゼンテーションの準備（予習３時間）。振り返りのワーク（復習１時間）。
第７回	授業内容	青年期の親子関係：親からの自立、親への反抗等について概観する。グループ・ディスカッションを通じて、親子関係の問題に対する改善・解決方法を考案する。
	事前事後学修	教科書第Ⅲ章を読む（予習３時間）。ワークシートを完成させる（復習１時間）。
第８回	授業内容	青年期の友人関係（１）：青年期の友人関係について概観する。グループ・ディスカッションを通じて、青年期の友人関係の特徴と問題を明確化する。
	事前事後学修	教科書第Ⅳ章を読む（予習３時間）。ワークシートを完成させる（復習１時間）。
第９回	授業内容	青年期の友人関係（２）：孤独感や友人関係の負の側面について概観する。グループ・ディスカッションを通じて、友人関係の問題に対する改善・解決方法を考案する。
	事前事後学修	教科書第Ⅳ章を読む（予習３時間）。ワークシートを完成させる（復習１時間）。
第10回	授業内容	青年期と学校：青年期の学校生活について概観する。グループ・ディスカッションを通じて、教師との関係性における問題に対する改善・解決方法を考案する。
	事前事後学修	教科書第Ⅴ章を読む（予習３時間）。ワークシートを完成させる（復習１時間）。
第11回	授業内容	グループ演習③【調査・発表準備】：ｸﾞﾙｰﾌﾟ・ﾜｰｸとして、青年期の問題をテーマに選んで調査を行う。その問題の改善・解決方法を考案し、ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝの準備を進める。
	事前事後学修	テーマの選定と調査（予習１時間）。テーマについての調査（復習３時間）。
第12回	授業内容	グループ演習④【発表・評価】：前回グループで準備した内容についてプレゼンテーションを行い、受講者による相互評価と振り返りを行う。
	事前事後学修	プレゼンテーションの準備（予習３時間）。振り返りのワーク（復習１時間）。
第13回	授業内容	社会との関わり：時間的展望、職業選択、キャリア発達について概観する。ｸﾞﾙｰﾌﾟ・ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝを通じて、受講者各自の将来展望を検討し、各々の課題を明確化する。
	事前事後学修	教科書第Ⅵ章を読む（予習３時間）。ワークシートを完成させる（復習１時間）。
第14回	授業内容	成人期と老年期：青年期に続く成人期、老年期の発達課題について概観する。ｸﾞﾙｰﾌﾟ・ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝを通じて、成人期の問題に対する予防、改善、解決の方法を考案する。
	事前事後学修	教科書終章を読む（予習３時間）。ワークシートを完成させる（復習１時間）。
第15回	授業内容	総合考察：これまでの学びを振り返り、この授業で修得したことを意識化し、自らの学びの意味付けを行う。
	事前事後学修	これまでの授業内容の振り返り（予習３時間）。ワークシートを完成させる（復習１時間）。